

BAB IV

KESIMPULAN

Hasil analisis terhadap 50 bentuk negasi dalam kalimat bahasa Jepang yang disebut dengan 否定形 *hiteikei* atau bisa juga disebut 打ち消し *uchikeshi* (penyangkalan) diklasifikasikan ke dalam 3 kelompok dapat dirinci sebagai berikut : 17 bentuk negasi *nu*, 17 bentuk negasi *zu (ni)*, dan 16 bentuk negasi *mai*. Berdasarkan analisa pada bab III dapat disimpulkan hal-hal sebagai berikut :

1. Penggunaan *jodoushi* ん, ず (に) dan まい dalam kalimat bahasa Jepang.

Bentuk negasi ん termasuk kedalam *jodoushi* (kata kerja bantu) dan merupakan morfem terikat karena tidak bisa berdiri sendiri selalu menempel pada verba. Saat berkonjugasi dengan sebuah verba, bentuk negasi ん akan mempengaruhi makna verba atau kalimat yang diikutinya. Struktur kalimatnya adalah $V - \cancel{\text{なす}} + \text{ん}$.

Bentuk negasi ず (に) termasuk kedalam *jodoushi* (kata kerja bantu) dan merupakan morfem terikat karena tidak bisa berdiri sendiri. Bentuk negasi ず (に) bergabung dengan verba atau adjektiva-*I* berperan sebagai penghubung antar klausa dan biasanya memiliki hubungan sebab akibat atau saling menerangkan. Struktur kalimatnya adalah $V \cancel{\text{なす}} + \text{ず (に)}$ dan $\text{Adj} \cancel{\text{なす}} + \text{からず}$.

Bentuk negasi *まい* termasuk kedalam *jodoushi* (kata kerja bantu) dan merupakan morfem terikat karena tidak bisa berdiri sendiri dan dapat berkonjugasi dengan verba, adjektiva dan nomina. Struktur kalimatnya adalah:

a. V-*まい*

動詞 I ——— 降るまい、行くまい、飲むまい

動詞 II —— 見まい、考えまい、できまい、食べまい、行けまい

動詞 III —— 来(こ)まい、しまい

b. Adj(*i*) くはあるまい

c. Adj(*na*)ではあるまい

d. Nではあるまい変革

2. Makna *jodoushi* *ぬ*, *ず* (に) dan *まい* dalam kalimat bahasa Jepang.

Secara makna bentuk negasi *ぬ*, *ず* (に) dan *まい* memiliki makna negatif (penyangkalan) terhadap sesuatu, akan tetapi nuansa negatif yang muncul berbeda-beda

Jodoushi atau bentuk negasi *ぬ* karena hanya berkonjugasi dengan verba maka memiliki makna ‘tidak’.

Jodoushi atau bentuk negasi *ず* (に) memiliki makna ‘tidak’ dan ‘tanpa’.

Jodoushi atau bentuk negasi *まい* memiliki 2 makna yaitu:

1. Menunjukkan ‘maksud/keinginan negatif (penyangkalan)’, maknanya adalah ‘tidak akan/ tidak ingin’
2. Menunjukkan ‘dugaan/perkiraan negatif’, maknanya adalah ‘mungkin tidak/ mungkin bukan’.

日本語における否定形「ぬ」、「ず（に）」と「まい」の分析

—形態統語論及び意味論からの一考察—

ジュリアキランタ

0242028

マラナターキリスト教大学

文学部日本文学料

バンドン

2008

序論

世界の言語はそれぞれ特徴を有している。例えば日本語では否定を表す助動詞として「～ない、～ません、～ぬ、～ずに、～まい」がある。

現代日本語で否定を表す場合には「～ぬ」「～ずに」「～まい」より「～ません」と「～ない」が多く用いられるのである。

日本語否定文は基本的に述語用言を否定的にすることで示される。否定文の形式は、副詞によるもの、接辞によるものなど言語によって異なる。

「～ぬ」は「～ない」の古い言い方で、現代日本語の中でも使用されてはいるが、現代日本語で否定を表す場合には「～ぬ」より「～ない」が多く用いられるのである。「～ぬ」は動詞に付くだけである。「～ぬ」の文型は「動詞の否定+ぬ」という形である。

「～ずに」は前項をそれに続く後項に結び付ける役割を果たす。その前項と後項の関係は並列、因果関係、副詞的修飾の関係である。

「～ずに」の主たる用法は、その項が後項の事態が実現する際のやり方、あり方を示して、後項を修飾することである。ふつうは「～ずに」が動詞に付いて、文型は動詞の否定+「～ずに」、そしてイ形容詞に付くもある。その文型はイ形容詞+からず、イ形容詞+からず。

「～まい」は否定の意味を持った意思を表現するときに用いる、打消しの推量を表すときに用いることもある。「～まい」は動詞とイ形容詞とナ形容詞と名詞に付く。動詞の文型は「動詞+まい」で、イ形容詞の文型は

「イ形容詞＋くはあるまい」で、ナ形容詞の文型は「ナ形容詞＋ではあるまい」で、名詞の文型は「名詞＋ではあるまい」である。

以上の理由に基づいて、本論では日本語の文で助動詞の「ぬ」、「ずに」と「まい」がどのように用いられ、またそれらがどのような意味を持っているか分析する。

本論

例文：

(55) 更に門弟にとどまらぬ。

「ぬ」拘束形態素が「とどまる」の動詞にくっついて「とどまらぬ」になって、文の意味を左右する。統語論的に見て「ぬ」と動詞の「とどまる」は名詞を陳述する。動詞否定形「とどまらぬ」は名詞の後についているので、「に」という助詞によってくっつけられている。(55)の文の意味は「Jaga malam tidak berhenti dilakukan oleh murid」である。

(83) きのはさいふを持たずに家を出て、昼ご飯も食べられなかった。

例文(83)には否定形の「ずに」が動詞の「持つ」に付いて、前項と後項を結び付ける。それは因果関係を表す。前項の「きのはさいふを持たずに家を出て」が因を表して、後項は「昼ご飯も食べられなかった」が果を表すのである。拘束形態素の「ずに」が動詞「持つ」といっしょになっ

て「持たずに」になるため、文の意味を左右する。(83) の文の意味は「Kemarin keluar rumah tanpa membawa dompet, jadi makan siang pun tidak」である。

(74) この問題はこの大学の学生にはそれほど難しくはあるまい。

例文(74)には拘束形態素とイ形容詞「難しい」がいっしょになって「難しくあるまい」になる、それが文の意味を変化させている。その例文には否定形の「まい」は打ち消しの推量の意味を表す機能をする。その文の意味は「Masalah ini mungkin tidak terlalu rumit untuk mahasiswa.」である。

結論

否定形の「ぬ」、「ずに」、「まい」は拘束形態素の助動詞である。それが付くと、言葉や文の意味を変化させるのである。

意味から見て否定形の「ぬ」、「ずに」、「まい」は否定の意味（打ち消し）を表すが、生じに意味は状況によって異なるのである。

「ぬ」は動詞に付き、「ない」という意味を表す。

動詞あるいはイ形容詞に付いた「ず（に）」は前項と後項を結び付ける役割を果たす。その前項と後項が因果関係、副詞的修飾・被修飾の関係などである。「ず（に）」は「ないで」と「ない」の意味を表す。

動詞、形容詞あるいは名詞に付く「まい」は二つの意味を持つ。一つは意思の否定、もう一つは推量の否定である。

V+否定形

	動詞	～ぬ 「意味」	～ず(に) 「意味」	～まい 「意味」
一 段 動詞	知る (tahu)	知らぬ (tidak tahu)	知らず(に) (tidak/tanpa tahu)	知るまい (mungkin tidak tahu)
	思う (berfikir)	思わぬ (tidak berfikir)	思わず(に) (tidak/tanpa berfikir)	思うまい (mungkin tidak /tidak mau berfikir)
	聞く (mendengar)	聞かぬ (tidak dengar)	聞かず(に) (tidak dengar)	聞くまい (mungkin tidak dengar/ tidak ingin dengar)
五 段 動詞	くれる (tolong)	くれぬ (tidak boleh?/ tidak minta tolong)	くれず(に) (tanpa pertolongan)	くれまい (mungkin tidak akan (mau) minta tolong)
	受ける (menerima)	受けぬ (tidak menerima)	受けず(に) (tidak / tanpa menerima)	受けまい (mungkin tidak akan/ tidak ingin menerima)
	出来る (bisa / dapat)	出来ぬ (tidak bisa)	出来ず(に) (tidak bisa)	出来まい (mungkin tidak bisa)
変 格 動詞	決する (memutuskan)	決せぬ (tidak memutuskan)	決せず(に) (tidak memutuskan)	決しまい (mungkin tidak memutuskan/tidak ingin memutuskan)
V+ 助 動詞	思える (berfikir)	思えぬ (tidak berfikir)	思えず(に) (tanpa /tidak berfikir)	思えまい (mungkin tidak befikir/ tidak ingin berfikir)
	取れる (diambil)	取れぬ (tidak diambil)	取れず(に) (tidak diambil)	取れまい (mungkin tidak akan/ tidak ingin diambil)
	思います (berfikir)	思えぬ (tidak berfikir)	思えぬ(に) (tanpa /tidak berfikir)	思えぬまい ((mungkin) tidak ingin berfikir)

N/ Adj+否定形

名詞／ 形容詞	～ぬ 「意味」	～ず (に) 「意味」	～まい 「意味」
多い	×	多からず (tidak banyak)	多くあるまい (mungkin tidak banyak)
難しい	×	難しからず (tidak (terlalu) rumit)	難しくあるまい (mungkin tidak (terlalu) rumit)
効果的	×	×	効果的ではあるまい (mungkin tidak (terlalu) efektif)
欠陥	×	×	欠陥ではあるまい (mungkin bukan kekurangan)